

平成24年産米の市町村別生産数量目標の設定方針

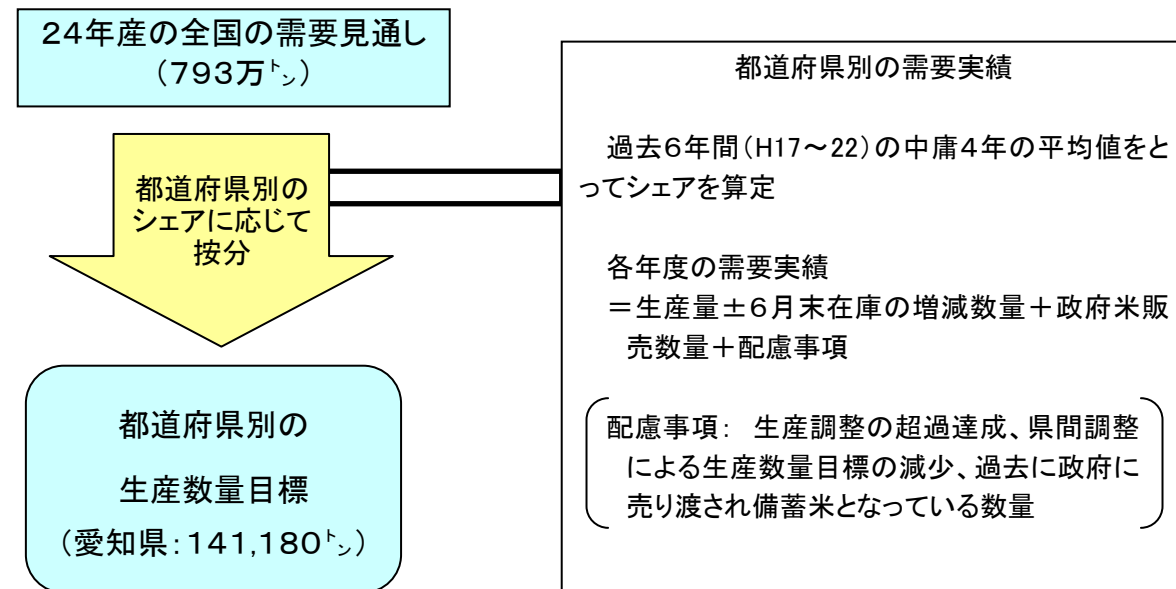
平成23年12月15日
愛知県水田農業
構造改革推進会議

1 全国の需要量と本県への生産数量目標の通知

国は、平成23年11月30日に全国の平成24年産米の需要見通しを前年産から2万トン減（対前年比0.3%減）の793万トン、面積換算は昨年と同じ150万ヘクタールとした。

本県に対して、平成23年12月1日付けで、前年産から1,360トン減（同1.0%減）の141,180トン、面積換算は昨年から260ヘクタール減の27,850ヘクタールを通知した。

24年産米の都道府県別の生産数量目標の設定方法



2 本県の市町村別生産数量目標の設定方針

(1) 国は、都道府県別の主食用米の「生産量」、「6月末在庫の増減数量」及び「政府米販売数量」などから算出した需要実績を基に、都道府県別の生産数量目標を設定したが、これらの市町村別データは公表していない。

このため、本県が市町村別の生産数量目標を設定するに当たり、国の算定要素をそのまま用いることが困難なため、以下の要素で算定する。

本県においては、生産者団体の合意のもと、

① 地域の水田農業の継続性を確保するための要素

平成23年産米の市町村別生産数量目標 …………… 50%

② 意欲のある農業者の取組を促進するための要素

(ア) 平成23年度の水稲生産実施計画書を提出した

市町村別認定方針参加農業者の生産数量目標 …………… 20%

(イ) 平成23年産の市町村別水稲共済加入面積 …………… 10%

③ 公平性を確保するための要素

平成23年の市町村別田本地面積 …………… 20%

要素の①から③を基に、市町村別生産数量目標を算定する。

(2) なお、本県の平成24年産米の生産数量目標は、平成23年産米に比べて1,360トン（約1.0%）減少となっているので、市町村の配分に当たっては、上限を前年と同量（前年比100%）に調整することとする。

(3) また、本県への生産数量目標には、種子あるいは学校田における生産といった実数として確保する必要のある数量も含まれていることから、これらについては、市町村へ配分する生産数量目標から予め控除しておき、調整後の当該市町村の数量に加えることとする。

(4) 上記の(1)から(3)により設定した市町村別の生産数量目標は、当該市町村の10アール当たりの配分基準単収で除した面積換算値と併せて市町村に提供することとする。